

令和元年度 第5回社会教育委員会会議録

開催日時 令和2年1月28日(火) 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎4階4A会議室

出席委員	委員長	林 達夫
	副委員長	磯部 彰
	委員	曾我 隆
	委員	山内 正一
	委員	山田 恵市
	委員	鈴木 正司
	委員	土屋 純子
	委員	森川 伸江
	委員	伊藤 正明
	委員	柘植 弘成
	委員	村松 通男
	委員	田口 容子
	委員	各務 周和子
	委員	水野 宏昭

説明の為、出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
生涯学習課課長	鷹見 健司
生涯学習課係長	荻山 勝
社会教育指導員	遠藤 滋
社会教育指導員	堀 春美

議 題

1. 令和元年度第4回会議録承認
2. 生涯学習課の家庭教育の取り組みについて報告
3. 三学塾塾長の役割と全市共通の活動内容(案)について
4. その他

開 会 (午後3時45分)

教育長あいさつ

ご承知かと思いますが、現在恵那市の小、中学校は全ての学校でコミュニティスクールと指定して2年となります。コミュニティスクールとは学校運営協議会という校長と一緒に学校を運営・経営していく委員会として、かつての学校協議委員会のような校長の諮問機関よりは権限を持った会になっております。このメンバーについてはそれぞれの学校で必要な立場の方をお願いして募っておりますので、人数も学校それぞれでありますし役員も様々ではあります。PTA会長・地域自治区の代表、振興事務所長、塾長、基本的には入っていただいています。今現在、多少の温度差はありますが、どこの学校も前を向いて進んでいますし、すでに実績が出てきている所もあります。地域学校共同本部仮称というものは文部科学省が学校運営協議会だけでは学校の少子化・学校の小規模化の中でまだまだ弱いのもっと地域と結びつけた教育活動を行いなさいという指示の元に地域学校共同本部という組織を作って地域の方からもご支援をいただく、学校運営協議会と連携しながら進めていく構図ですが、恵那市は既に15年前の市町村合併の時に地域自治区改正にシフトしており、それぞれの地域で地域自治区会というのが発足されていると思いますので、この中の柱の1つ、議題の1つとして地域学校共同本部の役割を担っていただくとご説明、ご依頼をさせていただきました。地域コーディネーターですが、必ず設置されている塾長にやっていただくのが基本としながらも振興事務所長や地域の中で適任者がいましたら独立して仕立てていただいても良いという事にしてあります。重複して役割を担っていただく方もありご負担をおかけすることもあると思いますが、様子を見ながら改善していきたいと思います。この恵那市コミュニティスクールとしての文科省からの補助金を3年間受けておりましたが本年度で廃止となりましたので、全体像の組織を作った所に地域每一律ではありませんが補助していきたいと思っておりますので、皆様におかれましては状況等を伺っていただきたいので、よろしく申し上げます。

委員長

昨年の会議の中で塾長の役割について皆様に検討していただきました。本日は提言書の案がありますので出させていただきます。こちらは2月に塾長に出していきたいと思っておりますので、検討していただきたいです。

議題1 令和元年度第4回会議録承認

令和元年度恵那市社会教育委員会第4回の会議録が承認されました。

議題2 生涯学習課の家庭教育の取り組みについて報告

生涯学習課堀より家庭教育の取り組みについて報告

委員長

地域に貢献しながら進めていて、地域との結びつきが出来ており、よく頑張っているなと思いました。また地域の児童委員の方が参加していただけるという事は先輩の母親という事で良い事だなと思いました。

委員

地域で女性がリーダーとして活動していく事に対して、文科省が進めている公民館表彰というもので県から3つの公民館施設の中に笠置コミュニティセンターがあがり今年表彰を受けに行きます。乳幼児家庭学級で勉強した方達が、女性の立場で地域に役立つ活動は出来ないかと自主的に主事さんと共に取り組んでいる活動がホームページに掲載される予定です。乳幼児期の皆さんはとても楽しそうに活動している印象を受けました。

委員長

地域の方と一緒に活動していく事はみんなで子どもを育てていくという事が大切かなと思います。

委員

家庭教育学級の取り組みは、アミックスコムの放送で様子が流れますか？

事務局

東濃5市の家庭教育通信に東野と笠置が載りましたが、アミックスコムはないです。

委員長

家庭教育学級の様子をアミックスコムでコマーシャルとして流せば宣伝になると思います。

委員

自分の子どもの時に乳幼児学級に行っていましたが、母親達が集まる場所がないので他の母親と話せる機会が出来、とても良いと思うのでこれからも続けて行って欲しいです。

委員

アミックスコムは皆さん見ているので、こういう活動を流して欲しいと思います。

委員

今は過干渉かなと思うぐらいなので、もう少し自由放任にしても良いのでは思うぐらいで家庭教育はすごく難しいと思う。また先祖代々を大切にしていかなければならないと思います。

委員

民生児童委員では今年から1名増員したので、今まで手のつけていなかった乳児から高校生までの子にも今後は関わっていただけらいいなと思ってします。

委員

子育てとして早く子どもを預けたいという思いが強いのが子ども園でも見受けられます。産まれてから成人して老人になっていくまでの人育ちをいろんな方面で支援していくのが、引きこもりなどにならないように学校卒業してからも必要なのではないかと。学びの場が乳幼児でも少ないのではないかと思う。乳幼児学級も子ども園で繋いでいって小学校でも繋いでいかなければならないのではないかなと思います。今は否定的な親が多いので自己肯定力をもっと子どもにつけてあげないといけないのではないかなと思う事が多々あります。産んでくれてありがとうと言う子に育つように学校の勉強に安定した心で取り組めるような環境にしていく事が大切だと思います。

委員

ぼっち子育てや子連れ防災という新しい言葉が次々と出てきて、とても考えた活動をされている。責任逃れ体質が多い中でこの乳幼児教育学級の活動はすごいと思いました。

委員

他の市からお嫁に来た人にも参加もらえると、地域の事がよく分かるので良いなと思いました。

委員

最近げんきプラザに行く事が多くあった中で、子育ての環境が随分と整ってきているなと思いました。みんなで子どもを育てようというのが伝わってきました。小学校の参観日などでもそうですが、活動に参加して欲しい人ほど参加しないのかなとも感じました。でもこういう活動が子ども園や小学校に繋がっていけば、親同士のコミュニティーで繋がる事もあると思う。教育というと堅い感じがしますが、子どもの自慢話しましょうというスタンスで家庭教育学級が作っていただけら良いと思いました。

委員

高齢者をなんとか引き出して皆さんが活動している場に少しでも顔を出す活動をした方がいいのではないかと考えています。いろいろ勉強していきたいと思います。

委員長

高齢者と子どもの関われる機会をつくっていただくと、エネルギーの余っている高齢者が活躍できる場が出来るのではないかと。子どもと触れ合うと若返ると思うので、連携を取りながら話を持つ場が出来たら良いと思います。

議題3 三学塾塾長の役割と全市共通の活動内容（案）について

事務局より三学塾塾長の役割と全市共通の活動内容について

委員

前回、議事録の12ページの一番下のところ公民館長から塾長へ至る年度などが書いてあるが、内容などがこれだけ変わってくると権限も違って来るだろうし対応も違って来ることもあると思うがこれを聞いて理解をしなければいけない。公民館長ではこんなことができなくて、今現在の塾長に至っている流れなどに少し触れてもらおうと、皆さんに分かってもらえるし、社会教育委員はそれを知っていないといけないので、わかる範囲で構わないので教えてください。

事務局

コミュニティセンターを社会教育法から外した施設にするという話からなっており、以前は公民館長がいて、最初のころは公民館という施設がありながら振興事務所と別れていた。それを一緒にしようというところからコミュニティセンターになりました。しかし、1つの施設の中に振興事務所長（センター長）と公民館長と2人も長がいるのはおかしいのではないかと。今までの公民館長だった方は三学のまち推進員（推進員）ということで平成28年度1年間を行った。しかし、公民館長の仕事を引き継ぎながらも今まで見たく権限がなく、地域の方からどういう人なのかがわからない存在となってしまった。年に6回三学のまち推進委員会を開催していたが地域の方から推進員さんのことをもう少し考えたほうが良いと意見をいただいたので、三学のことを進めていただいているので名称を三学塾塾長と変更をして、仕事の内容としては推進員の今までの仕事を継続して

やっていただき平成29年から現在に至っています。塾長会については平成30年度に限って各塾長さんに地域を知っていただくということで毎月行いましたが、現在は年6回行っています。しかし、初めてなられた塾長さん方は引継ぎをしてもらっても実際に何をやっていいのか曖昧なまま、また主事とどう協力していけばいいのかよく分からなかったのが現状だったのではないかと思います。

委員

振興事務所長は恵那市の職員の方で公民館長という人はそうでないということですか。

事務局

地域から選ばれた方です。

委員

地域やなった方によっていろんな事が変わってくる。自分の孫と一緒に住んでいて親に叱られているのを見ると、とても大変だと思う。孫に直接言えないので親に言うのが難しい。

委員

よその親とかよその子供には言えるが、自分とこの子供や孫には強く言えない。

委員

今はよその子供を注意すると、いらんことするなど叱られてしまいます。昔は隣近所の方が面倒をみてくれていたことが当たり前だと思っていて、子供を注意したら所在を聞かれ「いらん事言わないでください」という保護者の方も今はいます。時代が変われば世の中も変わってくるし、家族でも同じ場所に住んでいるが同じ家に住んでいないので何をしているかわからないのが現状。だからやりにくい時代になっているが今の子供たちはこれが当たり前だと思っているから教育自体が間違っていないかなと不安に思います。

委員長

そういうことで、まだまだ塾長の仕事や役割を徹底していなかったのが塾長が変わるたびに何をやっていいかわからない状態でした。引継ぎがなされていないし塾長の意識があまりなかったのが、今回の案を基にこれから実情に合ったものに変えていってもらえればいいと思うのでまずは第一提案ということで提言をしたいので、まず読んでみてください。

委 員

鏡文と提言書の表紙の内容の部分が一緒になっているような気がします。2ページ目に提言書で社会教育委員会となると思う。1枚目は宛先があってこういう文章でいいと思います。

委員長

提言書を書いたことがないので、どのようにしたらよいのか教えていただきたいです。

委 員

提言書に付ける鏡文と、別紙のという表紙が提言書がこうなるのではないかと思います。

委員長

初めて書く提言書なので、教えてもらったほうがいいです。

教育長

こういった形もあります。文字の大きさなどは違いますがあります。

委 員

別紙と書いてあるが別紙ではなく裏面に印刷してあるのでしょうかと思います。

事務局

今回は会議資料なので、別紙と書いてあるものが裏面に印刷してありますが、実際に渡すものは裏面に印刷ではなく別紙になります。

委員長

中身はいかがでしょうか。

教育長

前回の塾長会の意見を担当者から聞いたが、かつての公民館長時代の方の強い意見と今の形になってからの振興事務所長が長で塾長さんがナンバーツーという組織の中でそれぞれ意見があったようで、内容の一部をカットしてほしいといわれた塾長さんもいましたが、今、こういう組織になった以上各塾長さんは教育委員会の生涯学習課の職員という組織付けですので、ご理解の上各地域でやっていただきたいというのが願いです。かつては公民館時代のときは公民館長は地域で認められる人という時代と変わってきておりますが、地域で子供たちを育てることをご支援いただきたいという願いの中で、こういう組織ができておりますのでご理

解いただきたい。

委員

塾長の役割というところで、3つありますが1つ1つ事務局として具体的に例を挙げるとすればこういうことを目指しているということも言えなければいけないし、塾長さんたちもやっていることが説明できないといけないと思う。そのためにも下の書いてある注意書きが非常に大事だと思います。また、何よりも大事なのは市長部局のまちづくり部局と塾長さんが連携をして地域をよくしていくことが書かれているということを塾長さん方に理解してもらい1つ1つをしっかりと読み解いていただきたい。

委員長

このことについては、振興事務所長と塾長両者一緒に説明してもらい共通理解していただきたい。

教育長

振興事務所長さんにはご理解していただいていたほうがいい。

委員

私はこの注意書きはないほうがいいと思います。役割が記載してある下に中書きを書くことが理解しにくい。これは役割なのか役割でないのか位置づけがわからないのでカットしたほうがいいと思います。

委員長

これは役割ではなく、ここに書かれていることの説明です。これは必要です。

委員

3として新たに起こしてもいいですし、前文に付け加えてもいいかと思います。この注意書きはとても大切なことが書いてあるので消してしまうのはもったいないと思います。

委員長

意図はわかってもらえると思いますが、この内容をどこに入れるかということですがどちらがよろしいですか。確かに違和感があります、活動内容ではありませんので。

教育長

前文の中に趣旨願を補って入れたほうがいいと思います。

委員長

事務局で少し考えていただき、前文に入れてください。そのほか如何でしょうか。より良いものにしていきたいのでご意見はありませんか。

教育長

7、8、9については、得手、不得手があるとは思いますが塾長さん方にお願いがしてありますので大丈夫かと思えます。

事務局

前回前々回の中で私がお願いした中で、恵那市が生涯学習都市宣言をしてから数年たち抜本的な施策を打ち出さなければいけない時期に来ているのかと思えます。そのような中で、振興事務所長は塾長、主事が行っている事業については理解していなければならないしまちづくりを進める上で連携することはとてもいいことだと思います。

委員長

承認していただけるのであれば、拍手をもって承認したいと思います。ありがとうございました、訂正箇所を直していただき次回の会議で教育委員会に提言していきたいと思えます。

議題4 その他

次回第6回社会教育委員会は令和2年2月28日(金)午後1時30分から市民会館第二会議室で行います。

終わりの挨拶

副委員長

文化センターでは窓口に行くとはどなたでも話を聞いてもらえるので組織の中で仕事がうまくいっていると感じました、また、市民会館は合併してから塾長さん主事さんが何人か変わっています。仕事によって塾長、主事が対応してくれますがやっぱりいろんなことから関りは人だなと感じています。本日は長時間にわたりご討議ありがとうございました。

午後 3 時 4 5 分開会

令和 2 年 1 月 2 8 日 (火)

社会教育委員 林 達夫

社会教育委員 磯部 彰